

みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば
みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば
みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば

みんなのひろば

身近な話題や、部落での催し物などがありましたら広報係（2-1115）までお知らせください。掲載された写真をほしい方は、広報係まで。

みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろばみんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば

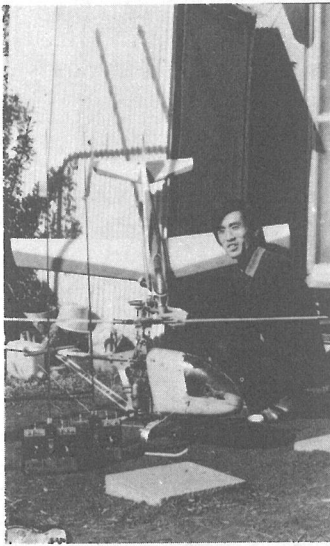
愛機「岩沢号」 大空を駆けめぐる

「職場の友だちにすすめられて、三年ぐらい前から始めるようになりました」と話す岩沢さんは、エンジン付のラジコンヘリコプターに夢中です。

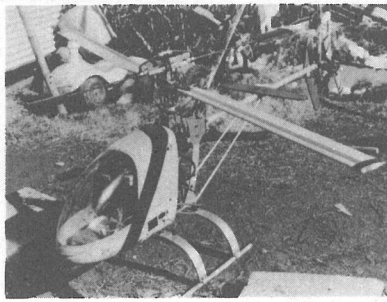
「自動車、ヒコキなど、ほとんどのラジコンをやりましたが、ヘリの場合は、空中に止まった状態から、上でも下でも、どの方向へも行けますから、それだけにむずかしく、また、魅力なんじゃないんですか」

週に二回ほど、友だちと飛ばしに出かけるといふ岩沢さんは、国鉄に勤める車掌さん。今までに何回となく、ヒコキやヘリをおとし、そのたびに腕を上げてきたそうです。

「ヘリの場合は、腕が四割、残りの六割が、エンジンや機械の調整



▲ 飛ばしているときは話を飛ばしません……と話す岩沢さん



▶ 愛機「岩沢号」

というように、調整のしめる割合が非常に大きいんです。飛ばしに行つて、調整だけで一日終わってしまったこともあり。今年、もうすこしエンジンの大きいヘリを買いたいですね」と今後に意欲を燃やす岩沢さん。大空にかける夢は、はてしなく続きそうです。

横芝俳壇

新年俳句会

土屋 栗水
成田 榛子
宇井 芝童
初がすみ総国猛き嶺を持たず
夫婦岩注連引き合ふて初霞
藤代 ゆう
わが焼きし茶碗に嫁の大福茶
向後 雅子
自家水道一番水の福茶かな

若梅あやめ

初詣孫の手強し階のぼる

鈴木 要

手を出せば届く山さえ初霞

横芝短歌

海保 きみ
餌をあさる小鳥の群のざわがしく
熟柿の数も日毎へりゆく
宇井 勇
敗戦後の命をつなぐ南瓜まで
野猿はおそい食いつくしたり
津田 若菜

吹き荒びし風は落葉を庭隅に
寄せて夕べを風ぎしづもれり
齊藤 寛次
丹念にハンカチーフをたたむ孫
乙女めきたるしぐさに見入る
北田 ふじ
栗山川に南限の蛙のぼるニュース
ききしと孫の電話かけくる
土屋 栗水
右膝に老化はじまり左足一本に
踏むべタルは重し
齊藤つね子
嫁齡の娘持つ吾が胸にしみ透る
みちのくにきく長持唄は

横芝の碑

(二〇九)

衆生を見守り三百余年

屋形無量寺の阿弥陀如来像

このシリーズの六十四(五十三)年二月号で「無量寺の六地藏は、檀家の海保長兵衛さんが建てたもの(元禄十一年)で、良く昔のままの姿を保っている」とご紹介しました。この無量寺には、六地藏より更に昔の寛文十年(一六七〇)建立という阿弥陀如来像が、墓石や供養塔に囲まれて建っています。一見、よく見かける六道回りの地藏様のように見えますが、立阿弥陀と言つて、れつきとした阿弥陀如来の一つの姿で、檀家の海保庄

右エ門さんが建てたものです。横芝町の碑や石造のほとんどは、貞亨(一六八四)以降のもので、稀にあるこれ以前のもの(古川の山王権現、中台円福寺の経塔の一部と思われる石造など)は、いずれもき損や分散が甚だしく、私たち素人には、その形式の推定や刻銘の判読が困難なものばかりです。ところが無量寺の如来像は、上半身に割傷が入っているだけで、全く昔のままの姿を残しています。無量寺檀家の海保氏には、城の